

# 甲佐町オレンジ通信

令和 8 年 2 月 甲佐町地域包括支援センター

## 第 9 号(通巻第 109 号)



認知症の人とのかかわりについて考えてみましょう。

甲佐町でも、認知症サポーター養成講座や民生委員・児童委員、地域福祉推進員の皆さんや地域の公民館活動などで、認知症のことを学ぶ機会が増えてきています。

甲佐町では、認知症の人を中心とした組織（チームオレンジ）もできました。地域生活の中で、困っている認知症の人や家族の思いに、少し応えることができれば良いのです。家族やボランティアの立場でかかわりを考えてみましょう。

以下は、認知症カフェの活動をするカフェボランティアの自己チェック表です。



Q1. 「介護してあげる」という一方的な気持ちではなく、友人として一緒に楽しもうとしていますか？

Q2. 遠隔記憶（昔のことなど）と近時記憶（最近のことや 10 分前のこと）の違いを理解して、本人と会話をすることができますか？

Q3. 疾患の種類や重症度を意識して、本人へのかかわりや会話、助言、同行ができますか？

Q4. 病識の有無や程度を理解して、本人へのかかわりや会話などができますか？

Q5. 本人の得意なことや興味があることを引き出すことができますか？

Q6. 本人の不安感を意識し、安心を与えるような会話やかかわりができますか？

(出典：NPO 法人オレンジコモンズ：認知症カフェスタッフ自己評価票)

一度に完璧にできる人はいません。ただ、認知症の人でもできることもありますし、地域生活で悩むこともあります。そのお手伝いができるばという思いやりがあれば、まずは、素敵なスタートラインだと思うのです。

お友達や家族が認知症になって悩んでいる。そんな人も、一緒に学んだり考えたりできるのが、認知症カフェやチームオレンジです。是非身近にあれば、気軽に参加してみてください。

本人の不安感に応じることができれば、本人も周囲も落ち着いた暮らしができます。あなたもカフェ活動や公民館活動などで、共に学びませんか？

甲佐町地域包括支援センターでは、6月から月に1回、全10回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。

お問い合わせ先  
甲佐町地域包括支援センター  
(甲佐町役場 福祉課)  
TEL 234-1114